宝永小だより

No.17
福井市宝永小学校
令和8年10月26日

学校教育目標：ひとり立ちできる子　～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

6年生　ふくいの魅力がお菓子に大変身3！　10月14日（水）

9月25日（金）に引き続き、宝永地区の老舗『御素麺屋』の社長　〇〇〇〇　様と和菓子職人の方をお招きして、共同開発に至った『塩大福』と『とみつ金時さつまいもどら焼き』のお菓子に名前をつけようと試みました。子どもたちは初めに、お二人のゲストティーチャーから商品名を決める際のポイントを伺いました。和菓子職人の方からは、①どういう特徴をもったお菓子なのか、②お菓子とその名前が一緒になって上品さが伝わってくるか、という2つの助言をいただきました。また、小寺社長からは、「これが正解というものはない。みんながなんとなくいいな、と思えるような感じでよい。」と話があり、①味から考える、②形から考える、③素材から考える、④製造法から考える、⑤色から考える、⑥ふくいの魅力から考える、⑦AIを使って考える、などの視点をいただきました。その後、子どもたちは1組・2組混合で6つの班に分かれて、意見交換を行いました。事前にそれぞれの学級で、一人一人の考えをもって集まれるよう考えてきたものの、改めて、どの班もホワイトボードを囲んであれこれ考えていきました。最後に、各班の案を学年で共有した後、一人一票の投票で商品名が決まりました。『塩大福』は、『越前海岸のしぶき』です。①百笑の塩が越前海岸の海水でつくられている、②こし餡の色が餡を包んでいる羽二重餅から透けている様子が『しぶき』に見える、ということから命名されました。また、『とみつ金時さつまいもどら焼き』は、『時を越えた満月』です。①素材にとみつ金時を使っているための『時』、②どら焼きの生地に恐竜の足跡の焼き印が3つ押されていることから、『時を越えて』恐竜が現れるという意味と、越前の『越』にも掛けている、③さつまいも餡の見た目が『満月』に見える、ということから命名されました。


＜それぞれの思いや考えを出し合う様子＞

10月25日（日）の宝永地区文化祭でのPR活動の様子は、次回以降の学校だよりで紹介します。

5年生　トップアスリートに学ぶ　10月15日（木）

スポーツ庁が実施し、日本テレビが運営するアスリート全国学校派遣プロジェクト『アスリーチ』」の事業に応募し、この度、元フットサル日本代表の〇〇〇〇氏をお招きして、体育の特別授業とキャリア教育を行いました。子どもたちはまず、サッカーボールを使ったウォーミングアップに取り組みました。ボールを頭上に投げ上げ、両手で頭・胸・お尻の順に触ってから、ボールをキャッチするという運動がゲストティーチャーから紹介され、子どもたちはその運動に挑戦しました。何度かやってみると、ほぼ全員ができるようになりました。『練習をすればできるようになることが、世の中には結構ある』というメッセージが届けられました。その後、難易度が上がり、触る運動に1回拍手を加える内容と触る運動に2回拍手を加える内容にも取り組みました。さらに二人一組で、頭上にボールを投げ上げたら（ボールが空中にある間に）、相手が投げてきたボールをキャッチし、すぐにそのボールを投げ返した後に（相手はそのボールをキャッチする）、頭上から落ちてくるボールをキャッチするという運動にも挑戦しました。互いに意思疎通してタイミングを見計らう能力が求められましたが、何度か練習すると、これもほぼ全員ができるようになりました。ウォーミングアップが終わると、障害物をよけながらボールを前に運ぶ個人技やペアでボールパスなどの練習をしてから、5人一組でフットサルのミニゲームに挑戦しました。一人がゴールキーパーを担当して、残りの4人でボールを運び、2つのカラーコーン間で見立てられたゴールに向かってシュートを放っていきました。子どもたちはウォーミングアップやフットサルのミニゲームを通して、運動やスポーツへの理解を深め、「わかる」「できる」を体感することができました。また、仲間と共に運動やスポーツを楽しみ、一緒に活動することへの喜びも実感できました。最後のゲストティーチャーの講話では、好きなことを見つけることや夢をもって努力をすること、そして何事にもあきらめずに取り組むことの大切さが語られました。その後の質問コーナーでは、子どもの頃の好きな教科が体育と英語であること、サッカー以外で好きなスポーツがバスケットボールやバレーボールであることなども、教えていただきました。


＜フットサルを楽しむ子どもたち＞

新「清掃班長会」が開かれる　10月15日（木）

子どもたちが2学期の新しい清掃場所で活動を始めるにあたって、新「清掃班長会」を開催しました。それぞれの清掃場所で共通する道具は清掃用具入れに備え付けられていますが、トイレ掃除の「ゴム手袋」や手洗い場の「専用のふきん（きれいな雑巾）」など、特別な清掃道具が班長に配付されました。また、毎週金曜日の清掃後に行われる「ゴミ回収」を効率的に行うための話合いも行われました。近くの清掃場所で1つのゴミ袋にまとめて代表者（交代制）が回収場所へ持って来られるよう、コースごとに顔合わせを行い、担当する順番を決めました。早速、その日の給食後、子どもたちがそれぞれの新しい清掃場所に集合しました。班長を中心に仕事の役割分担、名簿の作成を行い、清掃の3つの活動目標である①正しい服装で合図までに集まる、②口を閉じて時間いっぱい取り組む、③思いやりの心を持って取り組む、を確認しました。それを受けて、班長が決めてきた各清掃場所のめあてをメンバーに伝え、2学期の清掃活動が始まりました。子どもたちには「学校内をきれいにする」と共に、責任感・協働性・自立心・主体性・感謝の心等を育んでいってほしいと願っています。


＜清掃用具を受け取る子どもたち＞

1年生　公園で秋を見つける　10月15日（木）

生活科の学習「たのしい　あき　いっぱい」の一環で、校外学習「こうえんで　あきを　見つけよう」を行いました。子どもたちは徒歩で幾久公園へ出かけ、赤・黄・茶色に変わった葉や大きな葉、どんぐりやまつぼっくりなどの木の実を拾い集めました。そして、拾った落ち葉や木の実を手にしていた袋へ大事そうに入れていきました。他校の1年生と活動が重なり、期待以上に集めることはできませんでしたが、袋いっぱいに集めることのできた子どもたちもいました。学校に戻ると、子どもたちは1年ルームに設置されている『たからばこ』に、種類に分けて入れていきました。集めた秋の自然物は、次の「あきのおもちゃをつくろう」の学習活動の材料となります。そして、11月30日（月）には宝永小学校区の4園（聖徳幼稚園・尾上幼稚園・聖三一幼稚園・北部保育園）の年長児さんと一緒に、つくったおもちゃで『秋の交流会』を開催する予定です。


＜秋を見つけて袋に入れる様子＞

全校　GO!GO!　マラソンタイム、始まる　10月15日（木）

子どもたちは、11月4日（水）に開催されるマラソンデー（予備日：11月5日）に向けて「GO!GO!　マラソンタイム（マラソンの練習）」の取組を始めました。当日は1・2年生が800m、3・4年生が1．2km、5・6年生が1．6km走ります。この取組では校庭に、速めの速度で走る周回コース（ぐんぐんコース）とゆったりとした速度で走る周回コース（のびのびコース）をつくり、子どもたちは自らの希望する練習内容に合わせて練習コースを選択して、大休みの間、各コースを周回しています。また、個人のマラソンカードや学級全体で目的地を目指す掲示物に周回数を記録して、自らや学級全体のがんばりを讃え合ったり励まし合ったりしていました。当日は自己記録更新を目指して、最後までしっかりと走りきってほしいと願っています。


＜GO!GO!　マラソンタイムの様子＞

2年生　ドキドキ・ワクワク「町たんけん」パート2　10月16日（金）

2回目の町探検は、5つのグループに分かれて出かけました。探検先は、万寿屋・御素麺屋・宝永郵便局・つるきそば・坪田こんにゃく商店・大村商店・果秀高井屋・神明神社・どらごんぶっくす・きものギャラリー本嶋・千福寺・フラワーカドヤ・お茶の大三・片山ピアノ・宝永旅館です。どのグループも、3カ所ずつ探検しました。探検先には事前に質問内容をお伝えし、それに答えていただくことができました。また、どの探検先でも、日頃見られないものを見せていただいたり、貴重な体験をさせていただいたり、興味深い話をしていただいたりして、子どもたちは大変満足して帰校しました。宝永地区では、様々な施設や店舗が本校の子どもたちを受け入れてくださり、大変ありがたく思っています。今後も、宝永地区の良さを発見し、地域の皆様と関わることを通して、地域への愛着をさらに深めていってほしいと願っています。


＜探検先で魅了される子どもたち＞

各施設・店舗の皆様、付き添いをしてくださった保護者の皆様、お忙しい中、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

＊11月4日（水）のマラソンデーで、子どもたちは、全力を尽くすことと思います。当日はご都合がつきましたら、ぜひ応援にかけつけてください。また、保護者ボランティアの皆様には指定の場所で、観察にご協力いただけますこと、誠にありがとうございます。